

# 「じんけんコンパス I」ガイド



## ○「じんけんコンパス I」データはこちら



【一括版】 <https://tochigi-educenter.box.com/s/557i5j89x81898xym5bz1esgz4e1gc1>

【分割版】 <https://www.pref.tochigi.lg.jp/m01/jinken/jinkencompass1.html>



## 作成のねらい

「じんけんコンパス I」は、作成した指導資料の活用を通じて、児童生徒に人権や人権問題について正しい理解を図ることを目的に、令和 6 (2024) 年度に実施した「人権教育推進状況調査」の結果及び近年の国や県の動向を踏まえ、令和 7 (2025) 年度に作成しました。



人権や人権教育について書いてあるまる。  
また、人権感覚の確認や授業で活用できる事例がたくさん紹介されているまる。



## 「じんけんコンパス I」の主な特徴

### 【次の発達段階につなげるポイント】

「小→中」「中→高」「高→成人」のつながりを意識した指導のポイントを示してあります。



**人権教育の目標を踏まえた次の発達段階につなげるポイント**

安全で安心な生活のために、インターネットの正しい使い方について考えるという活動をおして、生徒が「人権教育の視点」において述べた「相手の立場に立って心情を想像する」、「危険性や弊害があることを予測し、正しく使い方を身に付け、お互いの人権を守ろうとする」という実践力の向上を目指します。さらに、**高校生の目標につなげていくために**、「情報流通プラットフォーム対処法」の概要について紹介し、法によって人権が擁護されていることを知ると同時に、個別の人権課題に対する理解を一層深めます。

### 【特別支援教育の視点を踏まえた支援】

第 3・4 章の各事例展開部上段に「予想される配慮が必要な児童生徒の特性」を設定し、その児童生徒を中心に行う支援の具体を展開部右側に示してあります。

- 支援の例
  - 自分の考えを発表することが苦手な子
  - 意見の伝え方に選択肢を示す (ペア、グループ、メモ等)

<b>展開</b>	このような特性のある児童生徒、いませんか？ 【人前で話すことへの不安から、自分の考えなどを発表することが難しい】		特別支援教育の視点を踏まえた支援
<b>導入</b>	学習活動 1 事例 1 について考える。 2 学習課題を把握する。 インターネットの正しい使い方を考え、マイルールを決めよう。	・指導上の留意点 ○ 人権教育上の配慮 ・事例 1 の問題点を出し合い、インターネットの使い方について考える。 ◎ グループで話し合う時には、被害者の立場になって考え、安易な書き込みが相手を深く傷つけることを、自分事のように捉えさせる。(感受性)	資料・準備物 《事例 1》  添削者：教材事典 2-1「SNS やブログなどのいじめ」P6 ・電子黒板 ・ワークシート
			意見の伝え方に選択肢があると良いですね。 (例) ・ペアで話す→グループで話す ・メモで伝え合う

